

第 35 回日本死の臨床研究会の記録

特別講演

1. いのちを生きるとは 日野原重明

会長講演

1. 私のいのちのささえ 林 章敏
2. ピアサポートー生と死を語る仲間 小松浩子

教育講演

1. 最期まで希望を持って生きられるか 清水哲郎
2. いのちの癒しー末期がん患者の心の叫びとケア 沼野尚美
3. 人として生きる 柏木哲夫

特別企画

1. 〈講演〉東日本大震災、悲哀の抑圧：被災者の心に寄り添う復興を
ー東日本大震災の現場から 野田正彰
2. (鼎談) 暮らしをサポートする災害支援ー今、被災者をどう支えるか 黒田裕子

シンポジウム

1. 看取りー最期を迎えるということ 総合コメント・司会 山崎章郎・佐藤雅彦
きぼうのいえにおける看取りの特色 山本雅基
在宅での看取りー実際と課題 太田秀樹
「これでいい！」と思える最期でありたい 藤腹明子
2. 自殺/自死問題の現状と対策ー今私たちがすべきこと 総合コメント・司会 柏木哲夫・斎藤真理
私たちの国の自殺の現状と対策の流れ 河西千秋
心理の立場からー私たちが自殺/自死と向き合うということ 川野健治
自死遺族からのメッセージー遺族の立場から伝えたいこと 南部節子
3. 子どものホスピスーその理念と歴史、わが国における展望 総合コメント・司会 細谷亮太・吉野浩之
子どものホスピスの現状と課題ー英国から日本へ 前田浩利
奈良東大寺・華厳寮でのレスパイト 富和清隆
難病とたたかう子どもと家族のための医療ケア付キャンプ場
ーそらぶちキッズキャンプ(北海道滝川市丸加高原)の取り組み 佐々木健一郎
自然と共存した子どものホスピス『海のみえる森』設立に向けた
経緯と今後の展望について 甲斐裕美
4. 事例から考えるスピリチュアルの実践 総合コメント・司会 原 敬・河 正子
日本的スピリチュアルケアの可能性 大下大圓
スピリチュアルの視点とは 窪寺俊之
スピリチュアルペインとそのケアーチームによるスピリチュアルケア
カンファレンスを主軸として 田村恵子

スピリチュアルケアの実践と教育

村田久行

ワークショップ 音楽療法

あなたはひとりではないー音楽のなかでお互いに共存することとは

新倉晶子

ワークショップ 教育研修

看取りのケアにおけるクリティカルパスーLCP (看取りのパス：リバプール・ケア・パスウェイ)日本語版の使用方法和使用の実際

宮下光令

朗読劇

なぜ私たちは演じるのかーうつ社会における演劇力

今、なぜミヒヤエル・エンデの『モモ』なのか？

米澤 慧

ランチョンセミナー

1. 院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なことー院内学級担任・ホスピタル
クラウンの活動を通して
2. いのちを支えるデス・エデュケーションー受講学生のメッセージから
3. リンパ浮腫のケア (大学病院の緩和ケアを考える会)
4. 健康と病いの語りデータベースとはー病いを生きる人々の語り

副島賢和

鈴木康明

伊藤優子・他

射場典子

教育研修ワークショップ

1. 2011 年度第 2 回教育研修ワークショップ

馬場祥子

国際交流広場

喪失と悲嘆に目を向けて

パート1：私たち自身のグリーフとグリーフケアに目を向ける

パート2：今、そしてこれから私たちに何ができるかーグリーフにどう関わり、
グリーフケアにどう取り組むか

藤井義博

事例検討

1. 患者の希望する家族関係を継続する難しさを倫理面から振り返って
2. 先進医療から終末期医療への切り替えが困難な両親ゆえに家族の中で孤立する姉への支援
3. 末期がんの母親をもつ子どもたちの予期悲嘆へのアプローチ
ー低学年の子どもたちへの病状説明を振り返る
4. 外来化学療法中に通院できなくなった乳がん患者
ー介護力不足の患者にどう向き合うか
5. “逃げずに向き合う”ことを求めたA氏との関わりを振り返って
ーホスピスケアの限界について考える
6. 症状緩和の薬剤に抵抗感を示す患者の全人的苦痛について考える
7. 覚悟をしていた夫の死を受容できずにいる妻へのグリーフケア
8. 余命告知1カ月と向き合う事例に寄り添って
ー家族との疎遠、偽名入院など問題を抱える患者へのアプローチ

村岡一恵

植松温子

谷川弘子

山川 宣

波多野智子

塚越美由紀

伊藤幸恵

近藤由香里

- | | |
|---|------|
| 9. 目標を失い「考えることがきつい」という理由で鎮静を希望したがん患者の関わり | 市川 瞳 |
| 10. 自殺企図を繰り返した進行がん患者の療養支援 | 笹田豊枝 |
| 11. 意思決定能力のない終末期高齢者への延命処置（胃瘻）と患者の代理者となる
家族への支援方法の検討 | 野口 忍 |
| 12. 最後に遺した言葉は「車いすに乗りたい」
－患者の希望に添えなかった医療者のジレンマを考える | 川瀬由佳 |
| 13. 娘の強い希望にて79日間も鎮静を継続せざるをえなかった1例
－覚醒を拒む家族に対していかに対応すべきか？ | 三木仁司 |
| 14. 輸液の継続・中止の判断に苦慮した事例
－自己免疫生溶血性貧血と認知症を伴う悪性リンパ腫 | 石川朗宏 |
| 15. 緩和困難な呼吸困難を生じた肺がん患者を在宅で看取る
－多職種による在宅緩和ケアカンファレンスの有用性 | 酒井直子 |
| 16. がん切断下肢の幻視痛へのスピリチュアルケアの有効性 | 中島修平 |

原著

- | | |
|---|--------|
| 1. 若年者における自殺関連行動－自殺企図と死生観との関連性 | 赤澤正人 |
| 2. 「生きる意味がない」と訴える終末期がん患者とコミュニケーションをとる
大学病院看護師の態度 | 新藤悦子・他 |

調査報告

- | | |
|---|--------|
| 1. 看護記録をもとにした、死が近い臨死期における皮膚湿潤の出現状況とその関連要因 | 柴原弘明・他 |
| 2. 在宅療養移行の選択に対する終末期がん患者と家族の納得を支援する看護援助 | 脇坂彩花・他 |
| 3. 乳がん患者が捉えた治療を継続していく力につながる家族のサポート | 山手美和 |
| 4. 遺族のエンバーミング（遺体衛生保全）施術の意思決定に関する調査 | 佐藤貴之 |
| 5. がん告知後適応に至るまでの患者が期待する看護支援
－がん以外の患者との比較検討を行って | 山田 忍 |